

平成27年度 東葉高速鉄道事業計画

平成27年度の事業の実施にあたっては、平成25年5月に策定した「第五次経営改善計画」に基づき、鉄道事業の基本である「安全を最優先する姿勢」を一層強固なものとしながら、地域に根差した企業としてお客様のニーズを的確に捉え、「お客様本位の鉄道」を目指した事業展開を図ります。

1. 安全輸送の確保

鉄道事業者として最大の使命である安全輸送を確保し、開業以来18年間の運転無事故記録を今後も継続すべく、引き続き施設の適切な保守管理や安全管理体制の更なる強化等により、お客様が安心して利用できる鉄道を目指します。

- (1) 高架橋柱耐震補強工事の実施
- (2) 軌道モーターカーの更新
- (3) 排水・汚水ポンプの更新
- (4) 車掌用監視カメラ・モニタの更新
- (5) トンネルの特別全般検査の実施
- (6) 危機管理対策や安全輸送の確保につながる社員教育・訓練の実施
- (7) 異常時総合訓練の実施など全社的な取り組みによる安全管理体制の強化

2. サービスの向上

多様化するお客様のニーズを的確に捉え、お客様の視点に立った質の高い輸送サービスの提供に努めます。

- (1) 東海神駅のバリアフリー化（エレベーター等の整備）
- (2) 村上駅のトイレ改良
- (3) 北習志野駅の誘導チャイム整備
- (4) 情報誌「プチトリ」の発行による当社及び駅周辺情報の発信（年4回）
- (5) 「お客様の声」を反映したサービス向上対策の実施

3. 財務体質の改善

業務委託内容の精査等により経費を節減するとともに、繰上償還の実施により、早期に健全経営が確立できるよう努めます。

- (1) 船橋日大前駅照明設備の更新による消費電力の削減
- (2) 車両基地構内草刈り業務の一部直営化による委託経費の削減
- (3) 車両基地の設備点検等の直営化による委託経費の削減
- (4) 日常業務の委託先や契約内容の見直し等による経費の節減
- (5) 繰上償還の適切な実施による支払利息の軽減

4. 運輸収入の確保

当社線への利用者誘致を図るため、企画乗車券のPRや新たな導入等を積極的に行い、運輸収入の増加に努めます。

- (1) 東葉東京メトロパスや東葉羽田バスきっぷ等のPRによる鉄道利用の促進
- (2) 新たな企画乗車券の導入による鉄道利用の促進
- (3) 沿線イベント等を通じた東葉高速線の利便性PR

5. 関連事業の推進

所有する未利用地や施設を有効に活用し、関連事業による増収に努めます。

- (1) 駅構内や高架下への新規店舗等の誘致による貸付料収入の確保
- (2) 駅構内や列車内への広告ポスター等の掲出による広告収入の確保
- (3) テレビ・映画への撮影協力による施設使用料の確保
- (4) トンネル内への通信ケーブル等設置に伴う設置料収入の確保

6. 人材育成

社員教育を積極的に推進し、会社を担う人材の育成や技能の習得を図ります。

- (1) 職場内研修の充実及び職場外研修への参加
- (2) お客様へのさらなる接遇及び安全性の向上を目指した社員教育・訓練の実施

7. 地域との共生

当社線に親しみを持っていただくための各種イベントの開催や、地域に根差した企業としての社会的な役割を踏まえ、地域への貢献・地域との共生に努めます。

- (1) 沿線地域が持つ魅力や当社施設を活かしたイベント「東葉健康ウォーク」「東葉サマーコンサート」「東葉家族車両基地まつり」の開催
- (2) 駅公設掲示板や行先表示器等を活用した地域活動への積極的な支援
- (3) 「開業20周年記念事業」の実施準備

平成27年度 損益収支予算

(単位：百万円)

区 分		予算額
経 常 損 益	営業収益	15,301
	旅客運輸収入	14,667
	運輸雑収	634
	営業費用	10,170
	営業費	5,607
	減価償却費	4,563
	営業利益	5,131
	営業外損益	△ 3,411
経常利益		1,720
特別損益		0
法人税等		670
当期純利益		1,050

※記載金額は各項目別に四捨五入して表示

平成27年度 設備投資予算

(単位：百万円)

区 分	予算額	備 考
安全対策	411	高架橋柱耐震補強 他
増収対策	71	駅構内新規店舗整備 他
サービス向上対策	736	エレベータ建設 他
その他	167	車両洗浄台温水装置更新 他
合 計	1,386	

※記載金額は各項目別に四捨五入して表示